

I. 平成24年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成22年11月～平成27年3月(4年4月)

1. 概況

本市の中心市街地活性化基本計画は、平成22年11月に認定を受けて以降、1回の計画変更を行い、37事業に取り組んでいる。進捗状況については、37事業のうち、完了事業が6事業、実施中事業が23事業、未着手事業が8事業となっている。

中心市街地は、阪神間でも有数の大型商業施設が集中する地域であり、これまで活発な商業活動が展開されてきたが、低迷する景気の影響や平成7年の阪神・淡路大震災の影響を受け、消費が落ち込むなど、商業活動の慢性的な停滞が生じている。経済産業省の商業統計調査によると、中心市街地内の小売業の従業者数と売場面積については大きな変化はないが、小売業の商店数と年間商品販売額については、減少傾向が続いている。

また、市周辺部に郊外型大型商業施設の新規出店が続々と進出している影響から、商業活動は非常に厳しい状況となっている。具体的には、アステ川西の地下1階のリニューアル事業で平成22年度に誘致した店舗が、2年も経たずして撤退してしまったが、平成25年4月より、アステ川西地下1階に、再度、新たな店舗を誘致できることから、今後の取り組みについては、増加している歩行者通行量を買ひ物客として取り込むための活性化策を講じる必要がある。

こうした背景から、中心市街地における魅力的でにぎわいのあるまちづくり、まちを回遊・滞留するためのネットワークの構築、様々なイベント事業の展開などにより、商業活動が活発になるまちづくりをめざすことが重要であると考えている。事業の取り組みについては、川西市中心市街地活性化協議会を中心として商店会等との連携で実施しており、各事業の完了及び進行中事業については、概ね計画通りに進捗するとともに、ソフト事業については、商店の魅力住民の方々に周知してもらえるような効果的な取り組みが実施されている。

本市の中心市街地活性化基本計画のめざす2つの方向は、ひとつには、老朽化の進む再開発ビルの大規模リニューアルにより魅力的な商業環境を創出すること。ふたつには、これまでに完成した再開発ビルや公共・公益施設などの地域資源を活用し、中心市街地に人々が回遊・滞留するための仕掛けづくりを行うことにより、本市の中心市街地を魅力的で活気のあふれるまちに再生することである。さらに、市民や学生、若者が中心となって、日常的なにぎわいを創出することをめざす。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
魅力的で活気のある『かわにしのせぐち』の創造	年間商品販売額(小売業)	536億円 (H21)	540億円 (H26)	497億円 (H24)	—	④
楽しみながら回遊したくなる『かわにしのせぐち』の創造	歩行者通行量	56,368 人/日 (H21)	62,000 人/日 (H26)	63,126 人/日 (H24)	—	①

- 注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

① 年間商品販売額(小売業)

年間商品販売額については、周辺の郊外型大型商業施設に買い物客が流動しており、状況は芳しくない。目標数値に寄与する事業の効果が発現していない状況であるので、年間商品販売額は基準値を下回る状況であり、このままでは目標の達成は見込めず、未着手事業の早急な実施が必要である。

② 歩行者通行量

歩行者通行量については、基準年である平成21年から平成24年までの間で、順調に数字は伸びており、目標は達成した。今後、未実施である事業を実施し、もう一つの目標である年間商品販売額の達成を意識しながら、目標達成に向けた取り組みを引き続き実施していく。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

5. 今後の対策

今後も川西市中心市街地活性化協議会を中心に、商店会等と連携し、事業進捗状況を把握しながら官民一体となり必要な対策を講じていくとともに、より効果的な事業推進を図る。

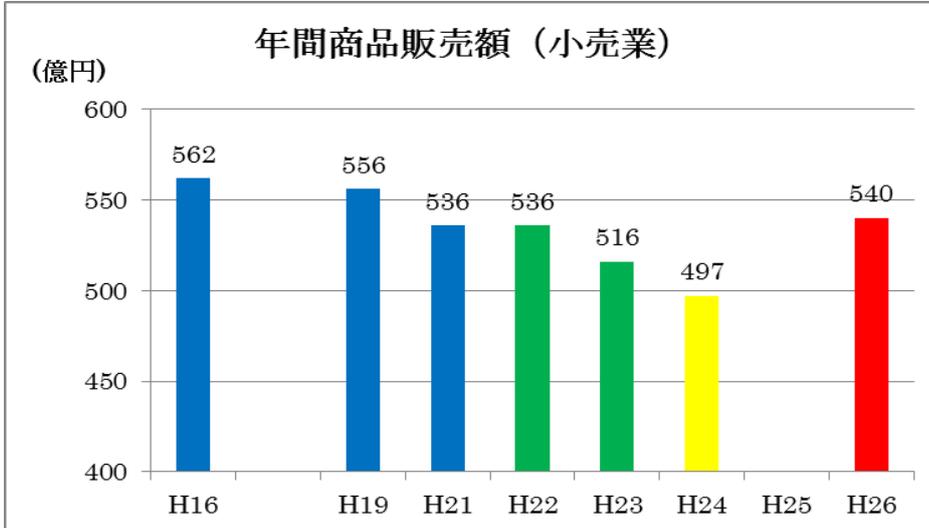
特に年間商品販売額においては、目標達成に寄与する主要事業であるアステ川西地下1階リニューアル事業について、平成25年度に再オープンすることから、数値の上昇が期待できる。また、現基本計画の計画期間内においては、将来の中央北地区開発につながる事業構築や、今後、新たに実施する事業等を計画に追加変更しながら目標達成に向けて取り組んでいく。

II. 目標毎のフォローアップ結果

目標「(魅力的で活気のある『かわにしのせぐち』の創造)」

「年間商品販売額（小売業）」※目標設定の考え方基本計画 P62～P68 参照

1. 調査結果の推移



年	年間商品販売額 (単位：億円)
H21	536 (基準年値)
H22	536
H23	516
H24	497
H25	—
H26	540 (目標値)

※調査方法；聞き込み調査により、過去の商業統計調査結果から推計（経済センサスが未発表のため）

※調査月；平成 25 年 3 月実施、4 月取りまとめ

※調査主体；川西市

※調査対象；中心市街地における商業施設、商店街

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① アステ川西地下 1 階リニューアル事業（川西都市開発株式会社）

事業完了時期	【済】平成 22 年度
事業概要	アステ川西地下1階において、所有と利用の分離手法を活用し、床を一括管理してテナントミックスを行い、フロアの全面改修工事を実施する。
事業効果又は進捗状況	工事を実施し、平成 23 年度には、大手スーパーが開業した。 しかし、業績が振るわず 2 年を経たずに閉店してしまい、現在は空き店舗になっている状況である。平成 25 年度中には、再度、新たな店舗が入店する予定であり、目標達成に向けて取り組む。

② アステ川西大規模改修事業（川西都市開発株式会社）

事業完了時期	【未】平成24～26 年度
事業概要	老朽化したアステ川西を大規模リニューアルし、通路の緑化及び市民憩い空間の整備、来館する高齢者や障害者などの移動円滑化のための昇降機の新設、通路・トイレの改修などを行う。
事業効果又は進捗状況	事業着手の遅れから、実施が困難な状況にある。アステ川西は当市のシンボルとして重要な役割を果たしている建物であり、早急には実施するために、現在調整中である。

③ 川西能勢口駅東地区第2工区優良建築物等整備事業（川西能勢口駅東地区第2工区権利者）

事業完了時期	【未】平成24～25年度
事業概要	都市機能の更新と生活環境の改善のための商業施設と住宅施設などの建設を実施し、駅前の賑わいを創出する。
事業効果又は進捗状況	未実施の状況ではあるが、現在は関係者と完成に向けたプログラムを進行中であり、早急に実施するために、現在調整中である。 事業実施後は、居住者が暮らしやすい環境の構築を図るとともに、中心市街地へ誘導する環境作りに努める。

④ 一時子ども預かり所開設事業（川西都市開発株式会社）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	アステ川西において快適な生活環境の整備のための一時子ども預かり所の施設の設置をする。
事業効果又は進捗状況	当施設については、平成25年度に川西市が「コミュニティ・スペースにぎわい空間整備事業」の実施によりアステ川西の6階部分を購入した後に、設置をする。市民の子育ての支援の事業として位置づけており、当施設を利用することにより、快適な買い物空間の創出が図られ、アステ川西内の購買力が促進されるものと期待している。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

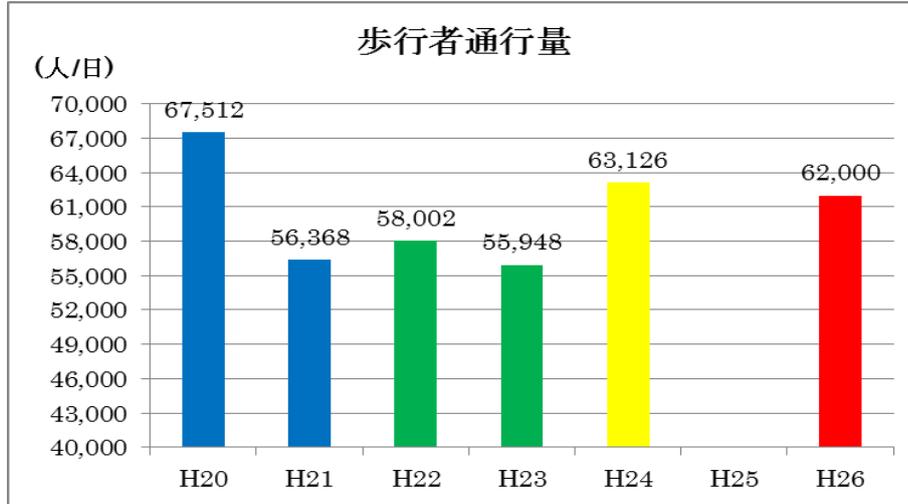
アステ川西地下1階リニューアル事業以外の事業については、一部の事業を除き、概ね計画通り進捗しているものの、ほとんどの事業の完了時期が平成25年度以降であるため、事業効果が発現していない状況にある。しかし、年々増加している歩行者通行量から、年間商品販売額の目標達成に寄与する事業の効果が発現すれば、目標は達成できるものと考えられる。

一方、中心市街地の核施設であるアステ川西での地下1階リニューアル事業において誘致した店舗が、わずか2年も経たずに撤退してしまったこと、また、アステ川西の改修事業が遅延していることもあり、数値目標が基準値を下回っている状況である。今後、平成25年度にアステ川西の地下1階に新しい店舗が入ることから、一定の年間商品販売額の増加が見込めるため、アステ川西の改修事業の完成を視野に入れて、かわにしにぎわい創出イベントの実施により販売額を促進させるソフト事業を展開しつつ、目標達成をするために、最大限の取り組みを図る。

目標「楽しみながら回遊したくなる『かわにしのせぐち』の創造」

「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P69～P74 参照

1. 調査結果の推移



年	歩行者通行量 (単位：人/日)
H21	56,368 (基準年値)
H22	58,002
H23	55,948
H24	63,126
H25	—
H26	62,000 (目標値)

※調査方法；歩行者通行量調査(毎年11月実施)

※調査月；毎年11月実施、12月取りまとめ

※調査主体；川西市

※調査対象；中心市街地における土日8地点の歩行者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 川西能勢口駅東地区第2工区優良建築物等整備事業（川西能勢口駅東地区第2工区権利者）

事業完了時期	【未】平成24～25年度
事業概要	都市機能の更新と生活環境の改善のための商業施設と住宅施設などの建設を実施し、駅前の賑わいを創出する。
事業効果又は進捗状況	未実施の状況ではあるが、現在は関係者と今後の完成に向けたプログラムを進行中であり、早急に実施するために、現在調整中である。 事業実施後は、居住者が暮らしやすい環境の構築を図るとともに、中心市街地へ誘導する環境作りに努める

② 一時子ども預かり所開設事業（川西都市開発株式会社）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	アステ川西において快適な生活環境の整備のための一時子ども預かり所の新規設置をする。
事業効果又は進捗状況	当施設については、平成25年度に川西市が「コミュニティ・スペースにぎわい空間整備事業」の実施によりアステ川西の6階部分を購入した後に、設置をする。市民の子育ての支援の事業として位置づけており、当施設を利用することにより、快適な買い物空間の創出が図られ、アステ川西内の購買力が促進されるものと期待している。

③ かわにしにぎわい創出イベント事業（かわにし能勢口にぎわいプロジェクト）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～
事業概要	路上ライブや街角コンサート、ガーデニングコンテスト、朝市、トラック市、スポット映画会、情報マップの作成などの実施。
事業効果又は進捗状況	川西能勢口駅前を拠点として、中心市街地内で各取組を実施しており、活性化を図る一因となっている。現在の事業を継続して取組しつつ、今後は、市民ニーズに即したイベントを開催していく。

④ 回遊動線形成促進事業（川西能勢口振興開発株式会社）

事業完了時期	【未】平成 23 年度～
事業概要	沿道施設の関係者と連携しながら、中心市街地における歩行者回遊動線の強化を図り、沿道のにぎわい空間を整備する。
事業効果又は進捗状況	関係者との調整ができておらず、着手できない状況にある。今後は、関係者との話し合いの場を設け、住民ニーズを取り入れた実施をしていく。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者通行量に関する事業については、一部遅延が生じているが、概ね計画通りに進捗している。目標達成の要因としては、川西能勢口駅周辺の民間業者の取組みが賑わいに寄与していると考えられる。そして、アステ川西周辺でのソフト事業実施の相乗効果も加わり、川西能勢口駅からアステ川西へ通じる歩行者ポイントと旧ジャスコ北東側の歩行者ポイントが増加し、目標達成への効果的な要因となった。現在、川西能勢口駅前のマンション開発が実施されており、居住人口の増加が見込まれるため、未実施である計画事業を行うことにより、数値目標の達成は十分に可能である。

今後は、未実施である事業に着手しつつ、更なる賑わいの創出を図るために、アステ川西を中核とした川西能勢口駅周辺の回遊性のさらなる促進に取り組むことが重要である。